



第74期 定時株主総会

2024年3月28日(木) 午前10:00～

カンロ株式会社



ウェブサイト掲載の招集ご通知
22 ~ 23ページ記載

Kanro

事業報告 対処すべき課題



- 中期経営計画2024進捗
- 今後対処すべき課題
- 2024年度事業計画



中期経営計画 2024

パーパスドリブン企業へ

カンロ株式会社

中期経営計画2024進捗 (財務指標)

		中期経営計画2024				中長期 KV2030	
		2021年 (実績)	2022年 (実績)	2023年 (実績)	2024年 (KPI)	2024年 (業績予想)	2030年 (目標)
	売上高 (前年比)	215億円	251億円 (+16.3%)	290億円 (+15.5%)	—	303億円 (+4.4%)	500億円
年平均成長率 (目標)	コア事業CAGR		5%以上			+12.0%	300億円
	新規事業CAGR		3%以上			+10.9%	200億円
			30%以上			+41.7%	
	営業利益	12億円	19億円	33億円	—	34億円	—
	営業利益率	5.8%	7.7%	11.7%	7.0%	11.4%	9%以上
	当期純利益	8億円	13億円	24億円	—	25億円	—
	ROIC	7.3%	10.9%	18.2%	7.5%以上	16.2%	10%以上
	配当性向	32.0%	32.8%	32.8%	40%	40.1%	50%

中期経営計画2024進捗 (非財務指標)

中期経営計画2024

		2021年 (実績)	2022年 (実績)	2023年 (実績)	2024年 (目標)	2030年 (目標)
事業を通じた 環境負荷削減	温室効果ガス総排出 量の削減 (2024年まで売上原単位)	253 t-CO ₂ /億円	268 t-CO ₂ /億円	306 t-CO ₂ /億円	262 t-CO ₂ /億円	Scope 1・2 50%削減 Scope 3 30%削減 <small>※2019年比</small>
	食品廃棄物の削減 (売上原単位)	4.76 t/億円	5.29 t/億円	4.62 t/億円	4.12 t/億円	3.24 t/億円 (2019年比30%減)
人権の尊重・ ダイバーシティ の推進	女性管理職 (課長職以上)比率	14.5%	14.5%	15.6%	20.0%	30.0%台
	障がい者雇用比率	2.4%	2.3%	2.6%	3.0%	3.0%(継続)
	従業員エンゲージメン トスコア	49.3%	49.7%	52.5%	55.0%	70.0%
糖の価値創造	糖に対する正しい価値 の普及活動	累計 441万人	累計 659万人	累計 805万人	累計 800万人	累計 1,500万人

①生産体制の強化

①生産体制の強化

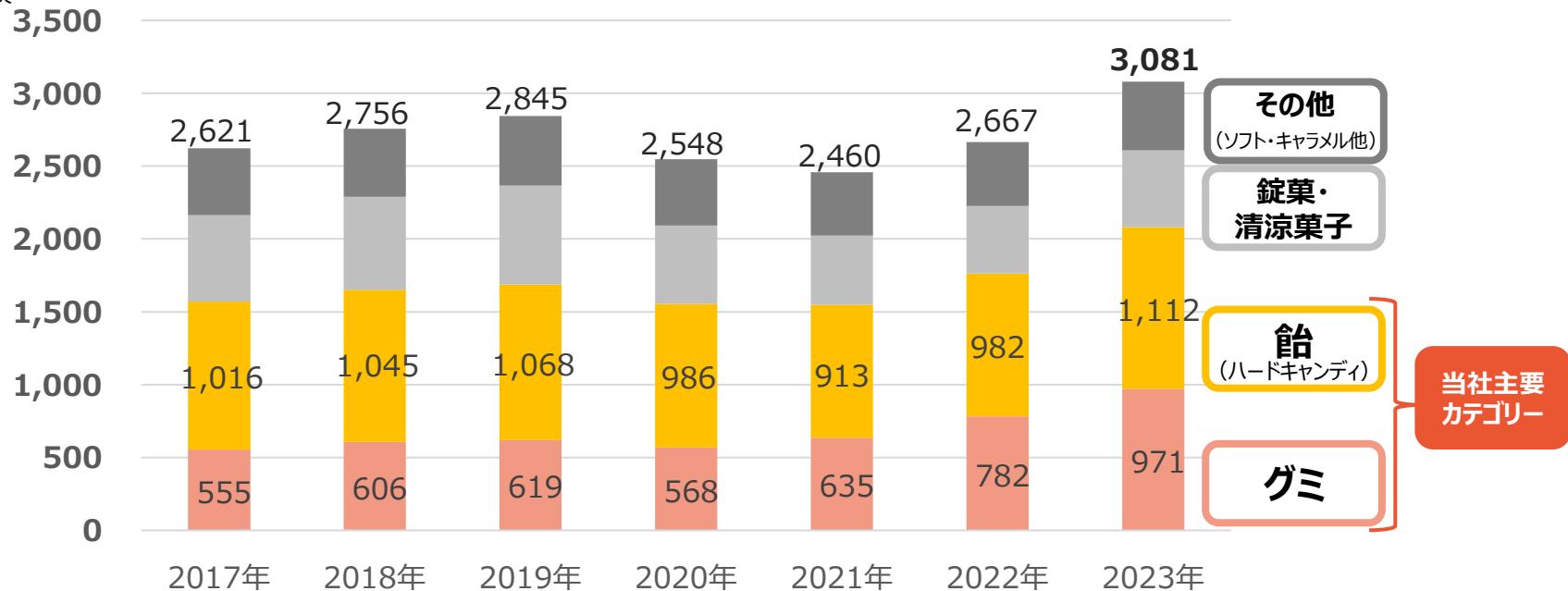
生産能力増強

新たな生産体制の検討

キャンディ市場推移

2023年キャンディ市場で飴、グミともに大きく伸長

小売販売金額
(億円)



DATA: インテージSRI+ 推計販売規模金額 2017年1月～2023年12月
*記載金額の表示単位未満の端数は切り捨て

生産能力増強・新たな生産体制の検討

現有設備・生産体制の強化

✓ 生産効率向上

- ◆【朝日工場】選別工程一部自動化(2024年1月稼働)

✓ 生産能力増強

- ◆【朝日工場】生産能力向上のための設備更新(2023年1月稼働)
- ◆【松本工場】ゴミ工場 拡張工事実施中 (2024年10月完成予定)
- ◆【ひかり・松本工場】 飴工場 生産人員増強

✓ 新たな生産体制 (設備投資)

「Kanro Vision 2030」実現に向けた生産体制拡充について検討中



当社朝日工場



当社松本工場



当社ひかり工場

②事業領域の拡大

②事業領域の拡大

コア事業

(国内飴・グミ事業)

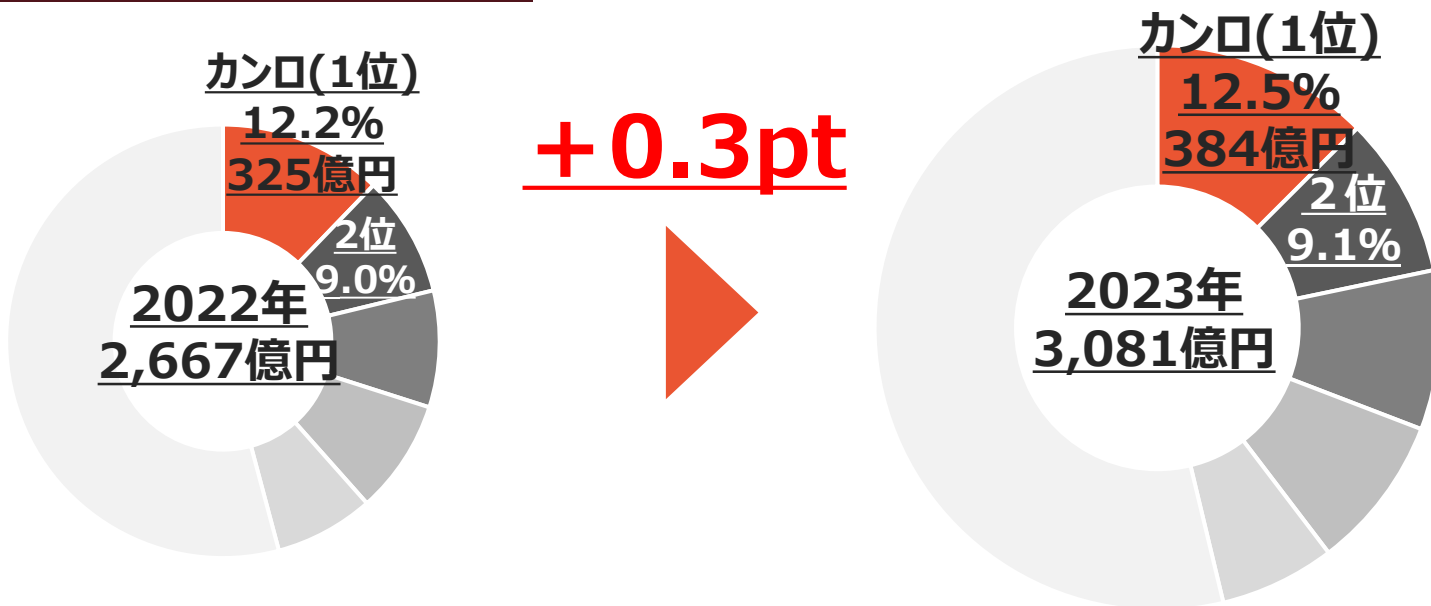
新規事業

(グローバル、ヒトツブ、デジタルコマース・
フューチャーデザイン事業)

②事業領域の拡大

コア事業 メーカー別市場シェア

キャンディ市場 シェア



DATA: インテージSRI+ キャンディ 推計販売規模金額 2022年1月～2023年12月

*記載金額の表示単位未満の端数は切り捨て

コア事業 主カブランドのシェア拡大

価格改定

原材料価格上昇によるコストアップに対応する価格改定

グミ

【ピュレグミ】



【カンデミーナグミ】



飴(ハード)

【金のミルクキャンディ】



- ・TVCM等のプロモーションの実施
- ・1品あたりの販売金額の最大化

グローバル事業 海外展開の推進

中国国際輸入博覧会 カンロボース出展
(2023年11月5日～10日)



- ・中国展示会の初出展により
中国市場でのブランド認知拡大
 - ・一方で、輸出環境の整備に課題
- ▼
- ・海外展開ブランドの戦略策定、検証
 - ・多面的アプローチによる事業拡大を
検討

ヒットブ事業 新規店舗オープン

ヒットブ
カンロ

ヒットブカンロ 原宿店 2024年4月17日(水)オープン



- ・新店舗のコンセプトは「**FUN & CHOICE**」
- ・人気商品の「グミツツェル」や限定キャンディなどの商品が**1個から購入可能**で、**自分だけのギフトをカスタマイズする楽しさ**を提供

デジタルコマース事業 KanroPOCKeTの活用

デジタルプラットフォーム**KanroPOCKeT**をベースに「**カンロサポータープログラム**」を始動

Kanroファンの意見を聞くことができる
新コンテンツ立上げ
ファン同士の交流も促進

Online



Kanro POCKeT

「Kanro POCKeT」と連携
イベント実施、情報発信による
企業価値の向上

ファンとの意見交換の場が誕生

東急プラザ「ハラカド」3Fに
KanroPOCKeT ラボ オープン

Offline



フューチャーデザイン事業

異業種との共創で廃棄包材のアップサイクル雑貨を開発・販売



カンロ初のクラウドファンディング成功
2023/8/28~10/13

横浜赤レンガ倉庫で限定販売
2023/12/13~1/28



KanroPOCKeTで販売開始
2024/2/27~
・「ピュレグミ」や「カンロ飴」のパッケージから生まれた
アップサイクル雑貨をKanro POCkETで販売開始

③ 人的資本経営の推進

③ 人的資本経営の推進

人財の育成

社内環境整備

③ 人的資本経営の推進

多様な人財の育成・確保

経営 人財

次世代の経営人財育成のため、
選抜研修「カンロ経営塾」を実施

指標 (KPI)	2023年 実績	2027年 目標
カンロ経営塾累計受講人数	59名	100名

デジタル 人財

デジタルと業務・経営を総括して
考えることのできる人財の育成・
確保

指標 (KPI)	2023年 実績	2027年 目標
DX研修のべ受講人数	198名	1,000名

グローバル 人財

当社の価値観と、国ごとの考え方
やルールを融合させて事業を創出
できる人財の育成・確保



③ 人的資本経営の推進

多様な人財活躍に向けた社内環境整備

エンゲージメント向上

- ・社員に向けパーパス浸透に向けた取組みの継続実施
- ・社内SNS【TUNAG】の活性化

健康経営の推進

- ・社員のヘルスリテラシー向上施策の実行
- ・事務所ごとの状況に応じたメンタルヘルスケアの強化

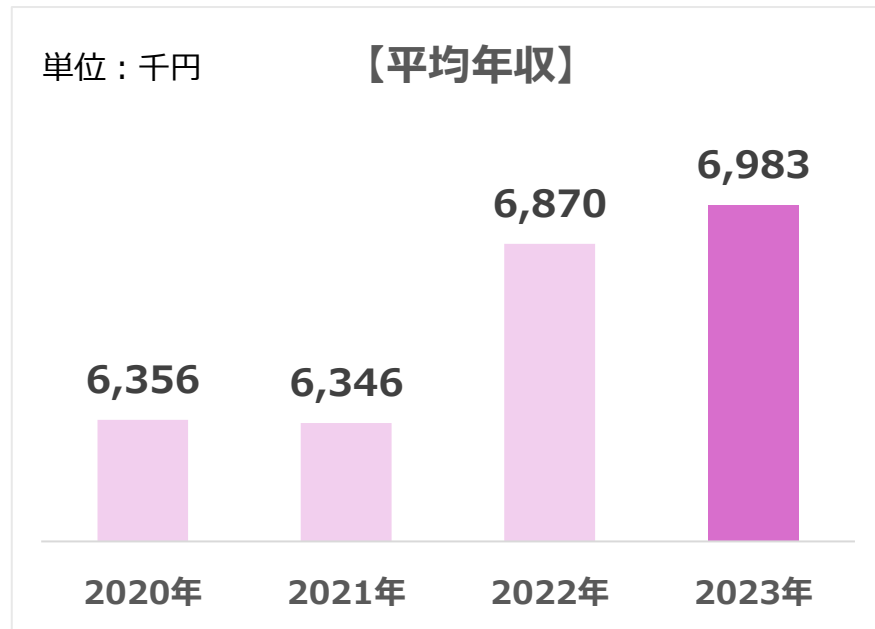
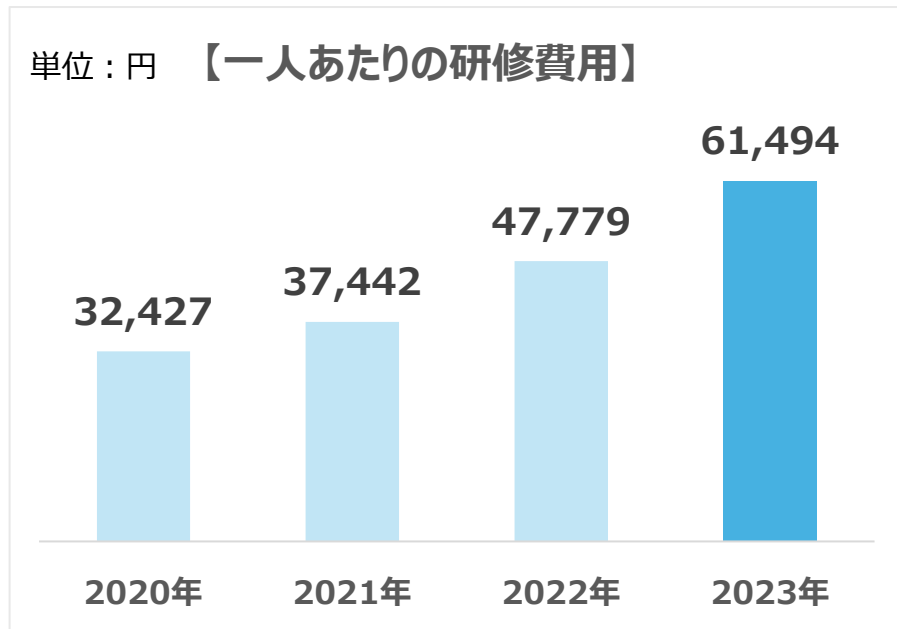
ダイバーシティ推進

- ・「カンロファーム」における多様な人財活躍
- ・ダイバーシティ推進リーダーによる全社横断的な取組の継続実施



③ 人的資本経営の推進

人財への投資



※「研修費」計上額÷正社員数(含む嘱託)

④サステナビリティの推進

④サステナビリティの推進

サステナビリティ推進体制の強化

環境負荷削減

④サステナビリティの推進

サステナビリティ推進体制の強化

サステナビリティ委員会

委員長

副委員長

- ・委員長にCEO、分科会リーダーに役員を据え、組織を再編成
- ・体制を強化し、事業活動と連携した施策を推進

糖の価値創造・社会
貢献分科会

事業を通じた環境
負荷削減分科会

食の安全・安心
分科会

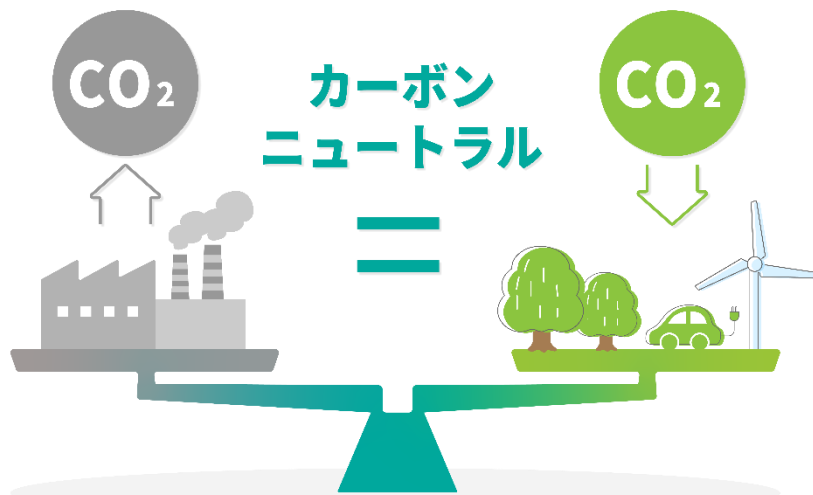
人権の尊重・ダイバー
シティの推進分科会

サステナビリティ推進部

④サステナビリティの推進

事業を通じた環境負荷削減

カンロは2050年
温室効果ガス排出実質ゼロ (カーボンニュートラル)の実現を目指し、
「オールカンロ」で取り組みます



グリーンエネルギーの活用

全工場 使用電力100%を
再生可能エネルギーへ切替(※)



(※)再生可能エネルギー電源に由来する非化石証書の使用により
環境価値を付加することで、実質的に再生可能エネルギー且つ
CO2ゼロミッションの電気

太陽光パネル増設



⑤ デジタル化への対応

⑤ デジタル化への対応

DX推進委員会

基幹システムの刷新

DX推進委員会 新設

代表取締役社長CEO

DX推進委員会

委員長 CIO

生産DX分科会

販売DX分科会

研究・開発DX
分科会

コーポレート
DX分科会

DX人材育成
教育分科会

システムソリューション

⑤ デジタル化への対応

業務効率化・生産性向上、価値創出に向けた経営基盤構築

2024年
基幹システム刷新

● 2024年1月
DX推進委員会新設

- 工場における
デジタルツール導入
- RPA導入

Kanro Digital Vision

Smart Kanro 2030

全役職員がデジタルとデータを活用できる環境をつくり、
顧客満足度を高め、企業価値を向上させ、
ビジネスをより良い方向へ変革する

(単位:百万円)

	2023年度(実績)	2024年度	増減	
			金額	率
売上高	29,015	30,300	+1,285	+4.4%
営業利益	3,388	3,450	+62	+1.8%
経常利益	3,432	3,470	+38	+1.1%
当期純利益	2,462	2,500	+38	+1.5%

	2023年度(実績)	2024年度(予想)
1株あたり配当金	58円	72円
配当性向	32.8%	40.1%

Sweeten the Future



Kanro

心がひとつぶ、大きくなる。